



2025年4月より男女共学化し、 「上田短期大学」となります！

(名称変更予定)

平成から令和へ、さらにコロナ禍を経て、「ニューノーマル」という語に象徴されるように、新たな価値観で時代を見据え、自らの生き方を地球規模で考えることが求められています。令和7年4月、本学も新たな一歩を踏み出します。

本学が変わる！ 一層面白くなる！！

夏休みを前にして、これまでの講義、演習、実習、サークル等、学生生活の手応えは如何でしたか？自分で成長を実感できたでしょうか。歴史学者の阿部謹也が「わかるということはそれによって自分が変わること。自分が全く変わらないのなら、それはただ知ったというだけだ。何かを知ってそれによって自分が変わるのがわかったということだ」という趣旨を述べている。皆さんは入学以来「わかる、わかった」ということをどれだけ体験し、積み上げられたでしょうか。処で、人は自身に自分が如何に平凡に思えても夫々は uniqueness、能力、資質のみならず他人とは異なる自分固有の歴史を持っている。他人と同じではあり得ない唯一無二の存在だ。人格、個性と言い換えても良い。だからこそ誰でも他人に語る、語れることを持っている。大学は、自分の語るべきことを互いに披瀝し合う場と私は考えます。それが米国で盛んに言う「高等教育になるほど学生は教員からだけでなく学生同士で学び合う、教員も学生から学ぶ」ことを実現、自ら体現することなのです。来年4月から共学に移行します。単に男子学生が来るという次元に留まるのでは勿体ない。それ以上の何か、もっと色々な人間が蝟集する、色々な体験、話題を持ち寄りそれを基に他の人々は当然、自らも変わる—その様な化学変化現象が本学で更に起きるのを切に願っています。

今、世界では戦禍の中で、学問、学生生活など到底望めない状況の人の何と多いことか。皆さんの前には、本州女子短大時代を含めて本学創基約60年の歴史を経て今年の3月までに1万1千余の卒業生、先輩が居られます。夫々の卒業生が社会で地歩を築き、本学の声望を高めていて下さることが本学の宝と言って過言ではない。そのことにも信頼して充実した日々を過ごし悔いのない学生時代にして下さい。



学長 小池 明



幼児教育学科 Topics

学科紹介

得意分野をさらに深められる「自然保育」「福祉社会」「表現文化」の各コースがあり、いずれも幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得はもちろん、専門性の高い保育者を目指しています。

附属幼稚園でのプレ実習を始め、裏山での自然保育、あそびプロジェクト、ゼミ活動等を通じて日常的に子どもたちと触れ合いながら学んでいます。



幼児教育学科1年

まるやま なつき
丸山 菜月さん(上田高等学校出身)

附属幼稚園が隣接し、裏山での活動も行うことが出来るという学習環境に魅力を感じ、この上田女子短期大学に入学して4ヶ月が過ぎようとしています。時に難しい課題に追われながらも、先生方からの手厚いサポートの中、保育者として求められる資質は何なのか、常に考えが更新され学びが深まっていく毎日です。夏休みには初めての実習を控え、緊張する気持ちもありますが子どもの視点を第一に考えることを忘れず頑張ります！

また、この学校でしか学べないことがきっとたくさんあるので、この環境を活かし共感性・観察力を高め専門性のある保育者を目指していきたいです。



幼児教育学科2年

なしだ いぶき
梨子田 依雪さん(豊科高等学校出身)

1年次は保育者になるための勉強や実習に加え、地域活性化団体「別所がある」や様々なボランティアに参加し充実した1年間を過ごすことが出来ました。灯キャラバンプロジェクトでは、地域の子どもたちに描いてもらった願いをキャンドルと共に飾りました。皆さんが描いた素敵なお祈りが灯る景色はとても美しく、沢山の願いが届いてほしいと強く思いました。今年度もこの活動を通して地域と繋がり、多くの願いを灯していきたいです。

2年次は、残りの実習や就職活動が控えていて、さらに忙しくなりますが、日々の勉強に加えて、今年も積極的にボランティア活動に参加し、今しか出来ない経験を沢山して、良い保育者になるための道を進んでいきたいです。

これからの学びの在り方とは？ ～学生と共に創る学び～



幼児教育学科 教授 酒井 真由子

私はたびたび幼児教育施設(園)に伺い、子どもの姿を見たり先生に話を聞いたりしています。先生方からは「よりよい保育になるよう努力し、必要があれば保育を変えよう」という思いがひしひしと伝わってきて、頭が下がります。私たち短期大学でも、従来からの教室における一斉授業を反省して、教授法などを変えていく必要があります。

ところで、少し前に卒業生数名が遊びに来てくださり、学生ホールで昔話に花を咲かせました。授業の話になり、「酒井先生が何か質問すると、みんなあちこちで応えて(答えて)いたよね」と言われ、そういえばこのメンバーの学年はそうだったなあ、楽しかったなあと思いついていました。

そうはいつでも、数年前と同じ形態で授業を行えばよいというものでもなく、私は目の前の学生たちは短大入学前にはどのような社会状況で生きていたのかと思いを馳せ、学生の顔を見ながら授業方法や内容を考えなければと思っています。そうしたなかで、最近では裏山で授業を行うことがぐんと増えました。附属幼稚園の先生と連携し、学生は附属幼稚園にどんどん行くようになってきています。分野が異なる総合文化学科の先生と一緒に授業もあります。教室で授業を行う場合には、みんなが顔を見合えるように輪になったりして、教員-学生対面配置ではないカタチも取り入れています。

すると、「私が学生に教えよう」という意識が薄れてきて、学生から学ぶこと、ハッと気づくことが一層増えました。なぜなら、私が教えなくても、学生それぞれが自分の関心事に合わせて「裏山の自然」や「幼稚園の園児と先生」、「私以外の先生」、そして「仲間」から何かをつかみ取り、学んでいるからです。きっとこれまでの学生のみなさんもそうだったのでしょ。私は以前にも増して「学生と共に学びを創りたい」と思うようになりました。

これからの社会を生きていく学生にとってどのような学びの場が必要かを考え、学生と共に学びを創るべく、私も楽しみながら奮闘していきます。



総合文化学科 Topics

学科紹介

さまざまな免許・資格・検定にチャレンジする学生が、活気に満ちたキャンパス・ライフを送っています。蔵書数8万7千冊を誇る附属図書館、自然光あふれる学生ホール等、各自が気に入りの場所で目的達成にむけて励んでいます。



総合文化学科 1年

かざま こはる
風間 小陽さん(上田千曲高等学校出身)

私が上田女子短期大学に入学した理由は、将来ブライダル業界で働き多くの人を笑顔にしたいからです。高校3年生のときにオープンキャンパスに行った際、ブライダル研究サークル「MIP」による模擬結婚式を見てとても感動し、私もこの短大でブライダルについて学びたいと思い入学しました。

総合文化学科では、私の学びたいブライダル分野だけではなく、心理・人間関係分野や、ビジネスについてなど幅広い分野について学ぶことができます。多くの知識や技能を身につけ、実践的な場で活かすことのできる力をつけていきたいです。学業以外にも、ブライダル研究サークルに所属し、ブライダルについて詳しく学んでいます。先輩方も明るくとても楽しいサークルです。また、積極的にボランティア活動にも参加しています。

2年間の学生生活では学業以外の様々なことにもチャレンジをし、成長していけるよう頑張りたいです。



総合文化学科 2年

たかの はな
高野 花菜さん(更級農業高等学校出身)

私は1年次2年次を通して、心理・人間関係の分野に力を入れて学んできました。心理学の授業では、自己分析をして自分を深く理解していき、それを元に他者との良い関わり方などを学んできました。今まで自分自身と向き合い自分の気持ちについて深く考えたことがなかったので、自分と向き合う事は少し難しくも感じましたが、座学だけでなくグループワークなど直接他者と関わるといった工夫した授業により、ゆっくりと自分がどんな人物なのか知ることができました。

元々人と関わることが好きだったので、この心理学の授業では私の知りたかった部分が多く知れて、今後多くの人と関わっていく中でもとても役に立つものとなりました。

私は来年度から金融機関への就職が決まりました。特に窓口でお客様と直接関わる業務が多いので、この2年間で心理について学んだことを活かし、私なりの相手に寄り添った対応を常に意識し、様々な人を笑顔にしていきたいです。

結婚式を通じて学ぶ、未来を生きるための力

総合文化学科 准教授 遠田 将大

ここでは、私も共同参画している「ブライダルコーディネーター」と「ウェディングプロデューサー」※についてつづやきます。この講義は、実体験から結婚式の意味を深掘りし、仲間と共に結婚式を企画するという流れで進んでいます。「そもそも、どうして結婚式ってあるの?」、「このカップルはどんな結婚式を望んでいるんだろう?」学生は、生まれる問いに向き合い、仲間と共に考える中で、「自分たちで結婚式(儀式)の意味を深く理解」していきます。自分が表現したものを元に考えていけるのがミソなのでしょう。発言を求められた時には、どの学生も自分の言葉で考えたことや学んだことを語ることができます。この姿を見て、私は学生の成長を感じています。

※増田榮美(ブライダル)、岡村綾華(デザイン学)、遠田将大(心理学)の3名で行われている講義。学生からは、三銃士の授業と呼ばれている。照れるけれど、うれしい。



子ども、司書、学芸員、編集者とともに学ぶ

総合文化学科 専任講師 井上 奈智

図書館司書課程の2年後期の選択科目「図書館総合演習」では、これまで学んできたことを掘り下げて少人数で総合的な演習を行ないます。学生8名と教員がシラバスを基に学びたい内容を一緒に考えました。附属図書館絵本コーナー「おやことしょかんBiv」や附属幼稚園での子どもへの読み聞かせ、附属図書館のサイン(案内板)づくりを通じて、司書業務の実践を行ないました。また、上田市立美術館、軽井沢町立図書館、角川武蔵野ミュージアム(所沢市)、小学館(千代田区)、国立国会図書館国際子ども図書館(台東区)を訪問し、図書館司書、学芸員、編集者といったプロフェッショナルから、実務の魅力や苦労ばなしを通じて、社会教育や出版についての学びを深めました。



最新情報

上田女子短期大学 創立50周年記念式典

本学は2023年に創立50周年を迎え、9月20日に「上田女子短期大学創立50周年記念式典」を北野講堂にて挙行了しました。今回は「学生のための式典」ということで、司会は学生が務め、また記念品は上田の和菓子屋「玉喜屋」と学生が協力してつくったお菓子としました。式典では「50周年の歩み」の動画を上映、最後は学生代表が挨拶を行い、未来に向かっての決意表明を熱く語ってくれました。



学生代表挨拶



未来に向けて決意表明



司会

能登半島地震寄付

1月に発生した能登半島地震で被災された方々を支援するため、本学では寄付を募りました。本学学生、教職員をはじめ、オープンキャンパス等に参加された方からも寄付をいただきました。

集まった寄付金(5万円)は上田市社会福祉協議会へお渡ししました。



紫苑寮閉寮

1986年に完成し、多くの学生の人間形成の場であった学生寮「紫苑寮」は2025年3月をもって閉寮することになりました。今年度、現寮生や寮生だった卒業生を招いた閉寮イベントを開催する予定です。



新任 教職員 紹介



幼児教育学科 専任講師
小出 真奈美
担当科目: 健康の指導法 他



総務課
花里 優

学生たちの 地域貢献活動

クリーン大作戦

地域の役に立ちながら学生自身も楽しめるイベントとなるよう、一から企画を組み立てています。今年は9月下旬開催で計画が進んでいます。

2023年は別所温泉内の
神社仏閣を清掃しました!



ウインターイルミネーション



今年も、丸子中央病院のウインターイルミネーションを本学学生がデザインします。また、病院での点灯に合わせて本学校舎もライトアップ予定です。お楽しみに!

地域活動チームInstagram



別所線
ガイドボランティア



別所がある



未来共創センターX
(旧 Twitter)

そのほか、様々な企画が進行中!
随時、未来共創センターの
X (旧Twitter) で発信しますので、
ぜひチェックをお願いします!

学内イベントなど



Uejo Festa

出演、音響、照明、演出すべて学生と教職員のみで行う、授業やサークル活動の発表会です。今年には本学の学園祭「学海祭」のプログラムの一つとして開催予定。

上田女子短期大学イメージキャラクター「うーたん」PR活動

正面玄関入ってすぐのスペースに、「うーたん」を用いた飾りつけを行っています。来学された際はぜひご覧ください。



中学生のための キャンパスツアー

連携協定を結んでいる長野県工科短期大学校と共同で、中学生を対象に授業体験イベントを開催しています。



高大連携事業

第10回 うえだ七夕文学賞

(上田西高等学校と共催)



10回目の節目を迎えた
今回、作品テーマに
「信州上田」を追加しました。
詳細は本学ホームページを
ご覧ください。

● 募集要項は本学のホームページに掲載しています。
たくさんのご応募をお待ちしています。

応募締切日 ▶ 9月6日(金)

【選者】短歌 ▶ 東洋大学名誉教授 神田 重幸先生
俳句 ▶ 高浜虚子の孫、「玉藻」名誉主宰 星野 椿先生
自由詩 ▶ 上田女子短期大学・上田西高等学校 教員

上田城千本桜ほしいます
(一般の部・俳句)

七夕や背伸びで結んだ願い事
(中学生の部・俳句)

短冊に思いを込めて書く姿
幼い妹夢が大きい
(高校生の部・短歌)

前回の入賞作品
(二部抜粋です)

後援会だより

会長ご挨拶



令和6年度 後援会 会長
戸塚 亮

保護者の皆様には日頃より後援会の活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、上田女子短期大学後援会の会長を務めさせていただくことになりました。役員様はじめ、会員並びに教職員の皆様のご指導ご協力を賜わりながら、本学の発展に力を尽くして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、多様性の時代と言われている昨今。一人ひとりの個を尊重し、様々な価値観を共有し合える柔軟な学び場が重要です。上田女子短期大学も令和7年度より男女共学へ移行の予定となっております。変化を恐れず、子ども達が自分の見据えた将来の進路に向かって邁進し、過ごせることを願っています。

後援会は本学の建学の精神である「敬愛・勤勉・聡明」、そして「学生ファースト」を心に、新しい時代を担っていく学生のキャンパスライフがより一層すばらしいものとなるよう努めてまいりますので、是非ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

令和6年度後援会総会・セミナー

令和6年6月1日(土)開催

6月1日(土) 本学にて、総会およびセミナーを開催しました。総会では事業報告、決算報告の他、新役員の皆様を紹介しました。

総会後は、セミナーとして、『しなやかな心を保つヒケツ ～一緒に見つけませんか?～』と題し、本学・総合文化学科 遠田将大准教授が行いました。講師から一方的に話を聞くだけでなく、保護者が子どもに向けての肯定的な「(アイ)メッセージ」を色和紙へ書き込みました。普段、意識していない子どもへの想いを改めて考えるキッカケになったと思います。そして、書き込んだ紙を貼り付けて、互いの創作物を見合うというワークショップを行いました。



令和6年度 学生生活支援

原材料費高騰等により、学食の食事代を値上げせざるを得ない状況となりました。そこで、後援会としては同窓会と連携し、学生へ負担を掛けず学食を楽しんでもらうために値上げ分を補助することといたしました。

現在も物価高騰が続いておりますが、学生がより豊かな生活を送れるよう、学生全体(学生生活改善)と学生個人(商品券等)の両方の支援を行ってまいります。

令和6年度 新潟支部総会 開催について

毎年恒例の新潟支部総会を下記の通り行います。当日は後援会長をはじめ、学長・教職員も参加し、学生生活・進路状況についてご説明します。その後、本学教員より模擬授業を行う予定です。

新潟支部の会員以外で、出席を希望される方は、本学後援会事務局までご連絡をお願いいたします。

(☎ 0268-38-2352 ☒ kouenkai@jml.uedawjc.ac.jp)

皆様のご参加をお待ちしております。



新潟支部総会の様子

日時 令和6年10月19日(土)
午前開催(予定)

場所 上越市

※昨年度まで利用していた高陽荘が閉館のため、別の場所となります。

学校法人北野学園 上田女子短期大学 「創立50周年記念事業募金」について

本学は2023年に創立50周年を迎えました。1973年の開学以来、地域に根差した短期大学として着実にその歴史を積み上げ、1万人を超える卒業生を社会に輩出してまいりました。今後も地域に根差した高等教育機関として、広く社会に貢献することを使命に、教育活動に取り組んでまいります。

50周年に向けて令和3年6月より募集を開始しました「創立50周年記念事業募金」に、昨年度は後援会より50万円寄附しました。今後も、学生たちがより充実した環境で大学生活を送れるよう、会員皆様のご支援・ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。



父から娘へ



幼児教育学科2年

みやじま あい よしふみ
宮島 藍/父・義文

三人兄妹の末っ子で、小さい頃から二人の兄の後をチョロチョロついて歩いていた娘が、高校三年生の夏に「上田女子短期大学に行って保育士になりたい!」と聞いて、

ちゃんと将来の目標に向かって歩いているんだと嬉しく思いました。コロナ禍で、思い描いた高校生活が出来ず、いろんな制約の中で大好きな班活動もままならず、でもそんな苦しい経験をした世代だからこそ、人の痛みや辛さが分かる大人になると父は信じ、応援しています。

いま想いを語る



総合文化学科2年

いけだ きつき としあき
池田 咲月/父・敏明

高校3年生の春、図書館司書を目指し上田女子短大へ行きたいと打ち明けられ、親元を離れ入学させていただきました。早いもので1年が経過し、進路を決める時期になりました。一人で生活している中、アルバイトを始めボランティア活動にも参加し、悩みながら就職活動をしている姿に成長を感じています。

目標の図書館司書の仕事に就くには決して容易な事ではないと思いますが、全力を尽くし残りの学生生活を有意義に送って欲しいと願っています。

母校への入学



幼児教育学科1年

こだま の える くにこ
児玉 野恵瑠/母・州子

娘は保育専門学校系列の高校を卒業しました。仲の良い友達は系列校に進学する中、自分から上田女子短期大学に進学することを決めました。友達と離れての学校生活を心配しましたが、すぐに友達もでき、楽しく過ごしている姿をみて安心しました。私は本学を卒業し、アパレルの仕事を経て、今は保育士として働いています。資格があったので転職はスムーズでした。娘には、違う仕事に就いても資格があればすぐに保育士として働けるので、今は大変だけど頑張ってもらいたいです。今しかできない経験をし、充実した学校生活を送ることを願っています。

母から娘へ

総合文化学科1年

やなぎさわ はな あやこ
柳澤 花/母・綾子

娘は進路で悩みに悩んでいましたが、あまり口を出すこと無く見守っていました。ようやく目標を定め上田女子短期大学総合文化学科に進学したいと決めるときは、驚きと嬉しさがありました。私も本学幼児教育科の卒業生です。学科は違いますが、私が充実した学生生活を送ったように、2年間という貴重な時間を明るく楽しく過ごし、たくさんのことを学んで将来に活かして欲しいと思います。

姉から妹へ

幼児教育学科1年

とくだけ みく れな
徳竹 美紅/姉・玲奈

私は幼児教育学科を卒業後、私立幼稚園に就職し、慣れないことも多く大変な日々ですが、それでもやりがいが多く子どもたちと楽しい毎日を送っています。

昔から子どもと遊ぶことが好きだった妹は、私と同じように保育者を目指すようになりました。私が実習で大変な思いをしている姿を近くで見ているも尚、その気持ちは揺るがなかったようで、私が通っていた学校なら安心だと同じ道に進みました。

これから大変なことも待っていると思いますが、学生の時にしかできない経験を沢山して楽しい短大生活を送れるよう願っています。

同窓生優遇措置について

本学の卒業生、在学生の子・孫および兄弟姉妹で、総合型選抜入学試験・推薦入学試験及び一般入学試験を受験して合格した方の入学に際しては、

入学金の全額(250,000円)を免除

します(R5年度実績17名)。ただし、推薦特待生・SG特待生・資格特待生の合格者には、同窓生優遇措置は適用されません。

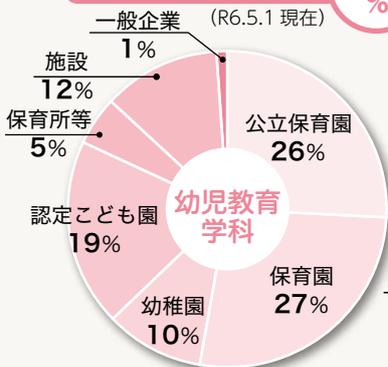
詳細は本学入試広報課までお問い合わせください。

進路サポート室は、



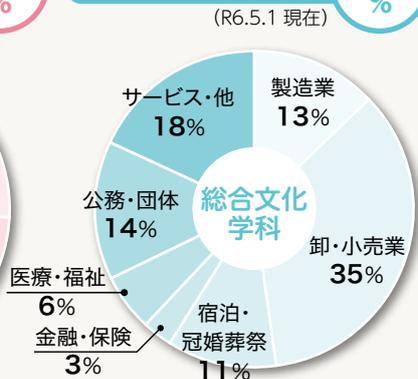
幼児教育学科

令和5年度就職率 **98.8%**



総合文化学科

令和5年度就職率 **98.4%**



公務員試験に多数合格しました

- ・公務員保育士13名、地方公務員4名 合格
- ・教員採用試験1名 合格 (愛知・長野県両方)

※就職率=就職希望者に占める就職者の割合

公務員試験対策講座

1年次夏季～2年次6月まで

公務員試験合格を目指し、手厚い試験対策講座を開講しています。講座は1年次夏季の数学基礎講座から始まり、基礎力養成講座(1年次9月より全15回)、直前対策講座(2年次4月～6月全15回)があります。令和6年度前期は19名の受講者が、週2回の講座を受講し、各自治体の公務員試験に臨んでいます。講座では、筆記試験対策の他、専門講師による学習指導、面接対策のアドバイスも受けることができ、本番試験への自信に繋がっています。

内定者フォローアップセミナー

2年次1月(専門職)・2月(一般職)



両学科2年生を対象に、社会人として働く心構えと、卒業前の不安を和らげ、安心して4月から職に就けるように、毎年同時期にセミナーを行っています。園や施設の専門職に就く学生には、卒業生でもあり、現在も勤務する園長を講師に招き、勤務する前に心得ておきたいことや、助言をいただきました。一般職に就く学生には、人生の先輩として多様な経験をもつ教職員から社会にでて働くことの意義、やりがい、楽しみなどを伝え、エールを送りました。

進路セミナー 1年次6月～

本学では、総合文化学科1年生を対象に、就職活動に向けて社会人として必要なビジネスマナーや就職活動に必要な知識を養うことを目的に、早期から進路セミナーを行っています。令和5年度は、業種・職種研究、名刺交換の仕方、履歴書、企業宛てメールの書き方、事業所見学、企業交流会の他、就活に生きるメイク講座、身だしなみ講座など、今の学生たちに必要な内容を盛りこみ実施しました。今年度も、1年生向けのセミナーが始まりました。引き続き、個々の学生が目指す進路の実現に向けて、サポートに努めていきます。



公務員保育士合同説明会 1年次12月

公務員保育士として地域の子どもの育ちに関わること、公立園の特徴、働き方などについて、自治体ごとに特色や試験対策をお聞きしました。令和5年度は学生が希望した7自治体をお招きし、お話をうかがいました。実際に勤務する園の先生方と対話形式で行う説明会は、自身の将来を想像し、公務員保育士を目指す意欲が高まります。説明会後には、2年生から公務員試験の合格体験を聞き、目指す将来の実現に向け、一歩踏み出す機会となりました。



資格NEWS

幼児教育学科

2年間で取得可能な資格は、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の他、介護職員初任者研修、レクリエーション・インストラクター、幼児安全法支援員、自然体験活動指導者(NEALリーダー)資格、准学校心理士があります。

●令和5年度資格取得者

資格試験名	取得者数
幼稚園教諭二種免許状	83
保育士資格	86
介護職員初任者研修	13
レクリエーション・インストラクター	12
幼児安全法支援員	17
自然体験活動指導者	24
准学校心理士	15

総合文化学科

資格報奨金制度を活用し、多数の学生が資格試験にチャレンジし、合格しました。

※資格報奨金制度とは・所定の資格(R5年度対象:15資格)に合格すると学長より報奨金が授与されます。

●令和5年度資格試験合格・資格取得者

資格試験名	合格者数
MOS Expert (Word,Excel)	1
MOS (Word,Excel,PowerPoint)	16
色彩検定3級	7
パーソナルカラーリスト検定	11
日商簿記検定3級	6
秘書検定2級	6
秘書検定3級	3
ピアヘルパー	2
プライダグコーディネーター技能検定3級	14
アソシエイトプライダグコーディネーター認定試験	14
医療事務技能審査試験	16
介護職員初任者研修	1

編集後記

2024年は1月に発生した能登半島地震から始まりました。この度の災害に際し、衷心よりお見舞い申し上げます。危機は事前に準備しておけば軽減できるものが多いと思いますので、学生の短大生活の危機に繋がれる小さなものから対策していきたいと感じました。(片)



学校法人 北野学園
上田女子短期大学
幼児教育学科 / 総合文化学科

〒986-1214 長野県上田市下之郷乙620
TEL0268-38-2352(内)
FAX0268-38-7315
E-mail info@uedawjc.ac.jp



Instagram



←上田女子短期大学通信の
バックナンバーはこちら

ホームページ <http://www.uedawjc.ac.jp>